

農学部の新入生 147 名、編入生 8 名の皆さん、さらに大学院農学研究科の新入生 28 名の皆さん、ご入学おめでとうございます。農学部および農学研究科の教職員を代表して、皆さんの入学を歓迎いたします。

本日から 4 年間もしくは 2 年間、佐賀大学農学部ならびに農学研究科において、健康で有意義な学生生活を送ってください。

新型コロナウイルス感染の拡大が止まらない中、佐賀大学の新学期は極めて異例のものとなりました。入学式も中止となり、オリエンテーションや開講科目もオンラインとなっています。不安を抱えての新生活の開始となることは極めて残念ですが、農学部および農学研究科の未来は明るく、そして皆さんの未来も明るく輝いています。

農学という学問体系は、食料生産を基本とした人類生存のための総合科学です。今、世界が直面している人口・食料・環境の諸問題において、農学の果たす役割が大きくクローズアップされています。佐賀大学農学部および大学院農学研究科では、これらの現状を踏まえ、「食料」「生命」「環境」「社会」の分野において幅広い知識と問題解決能力を備え、我が国はもとより広く世界で活躍できる人材の育成を目指しています。

農学は、生命化学の進歩に伴って、食の機能性・健康・美容、あるいは、創薬、医療の領域にまで広がっています。また、温暖化問題を含め、地球環境、エネル

ギーなどでも、農学領域への関心が高まり、持続可能な資源の再生なども、新しい農学の研究分野として始まっています。農学はいまやボーダーレスになっています。

皆さんは技術者、研究者、科学者としての入り口に立っています。これからの未来を明るく輝かせるために、自分や大切な人を守るために、今は行動を自粛し、コロナウィルス感染の抑制に努めてください。皆さんの行動自粛が必要とされています。そして、このコロナ騒動が終息した暁には、明るいキャンパスライフが待っているはずです。

本庄キャンパスにて皆さんを待っています。

令和2年4月1日

佐賀大学農学部長・大学院農学研究科長 小林元太